

会 議 錄

1 会議名

令和7年度第4回北諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・上越リゾートセンターくるみ家族園条例の一部改正（利用料金改定）について
(公開)

【自主的な審議】

- ・北諏訪まちづくり振興会との意見交換会に向けて（公開）

3 開催日時

令和7年11月6日（木）午後6時30分から午後7時5分

4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：高橋副会長、青山委員、有島委員、石田委員、太田委員、
金子（祐）委員、佐伯委員、杉田委員、（欠席者4名）
- ・福祉課：丸田課長、内田副課長
- ・事務局：北部まちづくりセンター 内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋副会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：青山委員、佐伯委員に依頼

議題【報告事項】上越リゾートセンターくるみ家族園条例の一部改正（利用料金改定）について、福祉課へ説明を求める。

【福祉課：丸田課長】

- ・挨拶

9月18日に開催された北諏訪区地域協議会において、資産活用課が公の施設の使用料金の見直しについて説明を行った。その際にくるみ家族園の利用料金の改定については詳しい内容を検討中とお伝えさせてもらっているが、本日はその内容がまとまつたので報告させていただく。

本日の報告は、条例に定める利用料金上限額を増額するというもので、実際の入浴料金は上限額以内の額で指定管理者が定めて運用することになる。

条例改正案は12月議会に提案する予定である。

【福祉課：内田副課長】

- ・挨拶

- ・資料No.1 「上越リゾートセンターくるみ家族園の利用料金の変更について」に基づき説明

【高橋副会長】

説明に対し、質問を求めるがなし。

質疑応答を終了とする。

— 福祉課 退室 —

【高橋副会長】

【自主的な審議】北諏訪まちづくり振興会との意見交換会に向けてについて、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

前回までは、北諏訪まちづくり振興会との意見交換会に向けて、意見交換するテーマについて協議をしてきた。本日は、それぞれの分科会で出されたテーマの確認と、意見交換会の持ち方について協議してもらいたい。

- ・資料No.2 「北諏訪まちづくり振興会との意見交換について」に基づき、意見交換を行

うテーマについて説明

まずはテーマの確認をお願いする。

【高橋副会長】

意見交換を行うテーマについて、それぞれの分科会から出してもらったが、意見や補足などはあるか。

【石田委員】

前回までの意見をまとめさせていただいたということで、特にこれといったことはないが、まち・人づくりのテーマが抽象的ではないかとの印象を受けた。内容的にはいいと思う。

【有島委員】

分科会では雑談のような形で話をしていたので、あまり細かな話にはならなかったが、テーマを大きくとらえて意見交換をすればいいと思う。

【太田委員】

これを、まちづくり振興会へぶつけるということでよいか。

【石崎係長】

ぶつけるということではなく、意見交換するにあたり、何かテーマがないと話のきっかけがないので、テーマを話のきっかけとしながら、いろいろな話に広げていってもらえばということでテーマを置いているものである。

【太田委員】

そういった形でいいと思う。

【金子（祐）委員】

私もいいと思う。直近の協議会は欠席したが、その前の協議会のときにはここに書いてある地区運動会の話が一番盛り上がったので、これは柱としていいのではないかと思う。

【高橋副会長】

健康・スポーツ・福祉分科会についてお話をさせていただく。

今、太田委員、金子（祐）委員からもお話があったとおり、地区運動会が、スポーツを通じて世代交流ができる一番いい機会ではないか、実施するにあたってもさほど難しくはないのではないかと思う。また、それによって少しでも地域の皆さんの交流、活性化が生まれれば、私もいいと思っている。是非とも実施に向けた前向きな意見交換ができればと思っている。

ふれあい福祉の分野については、高齢者の免許返納後の移動手段を考えたり、災害時の避難行動が困難な方に対する支援を考えたりであるが、特に災害はいつどこで起きるか分からないので、こういったことも早急に、まちづくり振興会をはじめ、地域として何か対策をしていく必要性があるのではないかと思っている。北諏訪区にある防災士会や消防団、町内会との連携が大事になってくると思うので、この辺もしっかりと進めていきたいと思っている。

【石崎係長】

まち・人・交流分科会については、私からお話をさせていただく。

まち・人づくりの分野については、地域内で活動するどの団体においても今後の人材が大事であるということで、1つの柱として話をしていいのではないかという話があった。

文化・交流の分野については、イベント等への外国人の参加のテーマは、課題というよりは、こんな切り口で考えてみたらより地域の活性化につながる考えが生まれるのではないかだろうかという、提案型のようなテーマである。

発想の始まりは、文化交流イベントの内容がマンネリ化してきていたり、参加する人が固定化している部分もあるのではないかとの話があった中で、北諏訪区に近隣の企業に勤めるために居住している外国人が多くおり、比較的若い。その方々が北諏訪区の中のイベント等に出店や参加してもらうことで、今までの参加者層とは違う方々の興味を引くような、例えば、外国文化を感じられるような手芸品を作る体験をしたり、外国の食べ物を出してもらったりすれば、若者の参加を促せるような、面白い切り口になるのではないかということである。

【高橋副会長】

意見等を求めるがなし。

それではテーマについては、このとおりとさせていただく。

それでは、事務局へ資料の続きの説明を求める。

【石崎係長】

- ・資料No.2 「北諏訪まちづくり振興会との意見交換について」に基づき、意見交換会の持ち方（案）を説明

【高橋副会長】

説明に対し、意見等はあるか。

【石田委員】

まちづくり振興会の専門部会に所属している部員はかなりの人数になると思うが、およそどれくらいの方に参加を呼び掛けるのか。また、意見交換会はいつぐらいになりそうか。雪がたくさん降っているようなときにたまたま当たると、参加者が減るのではないかという心配がある。腹案があれば教えていただきたい。

【石崎係長】

人数については、事前に澤海理事長と話をするなかでは、地域協議会の分科会が最大で各6人なので、そことのバランスをとる必要があると話していた。そうすると、振興会からは1つのグループに2つの専門部会から入っていただくので、1つの専門部会につき2人程度来ていただくのがよいのではないかと考えている。

時期については、振興会の事業の都合もあるので、これから先方と詰めていくところではあるが、あまり日が離れてしまってもいけないと思っているので、早ければ年末か年明けすぐに設定できればと思っている。

【高橋副会長】

質問、意見を求めるがなし。

では、このように進める方向でよいか。

(委員同意)

その他、事務局から何かあるか。

【石崎係長】

次回は意見交換会を行うということで、日程は振興会や会長とも相談しながら決めさせてもらい、改めて皆さんにご案内させていただく。

【高橋副会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。